

金権腐敗政治を一掃し、大軍 拡・大增税をゆるさず、物価 高騰から暮らしと生業を守る 大田区政へ



日本共産党

大田区議団 ニュース

日本共産党大田区議団

大田区蒲田5-13-14
TEL 03-5744-1477
FAX 03-3730-3447

ご意見、
ご要望を
お寄せ下
さい。



2024年が明けました。昨年は新型コロナウイルスが5類になりましたが、感染は止まらず影響が続いている中、異常な物価高騰に暮らしも区内事業者の景気も厳しい状況が続きました。さらに自派閥による政治資金パーティー収入の裏金疑惑が岸田政権と自派閥を直撃する大問題となりました。国民に負担を押し付ける一方で裏金づくりをやっている汚い政治は終わりにしなければなりません。大田区は「新空港線（蒲田線）計画」と「鉄道沿線まちづくり」計画を強引に進めており多額の税金が注がれます。さらに公民連携の名のもとに民間大企業の儲けを生み出す方向を強めています。

日本共産党区議団は新年度予算の要望書を区長に提出し、暮らしや福祉予算の削減ではなく、地方自治体の本来の役割である誰一人のこさない住民福祉増進の予算とし、区民が主人公の区政の実現へ本年も奮闘してまいります。

2024年1月

視覚障害者の方々の 要求が一步前進

☆エスコートゾーン増設
エスコートゾーンは横断歩道上の点字ブロックで、横断歩道から外れないで歩くために必要です。この間、視覚障害者のみなさんが区内に設置することを求めてきました。区議団は、関係する警察署に要望を届け、今回、環状八号線の大田区役所入口交差点（マルエツかまた店前）に新たに設置されました（左写真）。今後、蒲田郵便局前交差点（蒲田地域庁舎前）、山王口交差点（大森駅西口）にも今年度中に設置予定です。



☆マンホール蓋の改善
白杖は、視覚障害者の方には命綱です。西蒲田や下丸子などの歩道上のマンホールに大きな穴の開いた蓋がついており、「白杖が落ちて取り出せず、怖い思いを

して自宅まで帰った」などの声を聴き、藤田りょうこ都議とともに東京都の担当者に改善を求めてきました。「安心して歩ける」と喜んでいただいています。



→集中豪雨の際に蓋が飛散しないように大きな穴が開いていますが、歩道用や横断歩道用に穴の小さなタイプがあります。

議会日程(案)

- 2月
 - 8日(木) 請願・陳情締切
 - 15日(木) 定例会第1日
 - 22日(木) 定例会第2日
 - 代表質問 佐藤議員
 - 26日(月) 定例会第3日
 - 3月
 - 7日(木) 予算特別委員会 総括質疑 すがや議員
 - 8日(金)、11日(火)、14日(金)、15日(月) 火・木・金
 - 18日(月) 予算特別委員会
 - 21日(木) 予算特別委員会 しめくくり総括質疑
- 請願・陳情をお寄せください。

相談はお気軽に

法律相談のご案内

区議団顧問弁護士による、法律相談です。お気軽にご利用ください。

1月11日(木) 午後1時より
1月18日(木) 午後1時より

場所 日本共産党大田区議団控室
(大田区役所10階) TEL5744-1477

予約制です。前日までにお電話ください。



村石まい子
こども文教委員

交通政策調査特別委員
TEL 3742-2936



すがや郁恵
健康福祉委員

防災安全対策特別委員
TEL 3768-5844



杉山こういち
政調会長/まちづくり環委員

羽田空港対策特別委員
TEL 3730-3480



佐藤 伸
幹事長/地域産業委員

交通政策調査特別委員
TEL 3298-6362



清水菊美
団長/総務財政委員

シイカモーション・グループ
TEL 090-3342-3001

物価高騰から暮らしと営業を守る区政を

第4回定例区議会

代表質問 杉山こういち



ガザの人道的危機回避を求め

11月23日までにイスラエル軍による病院や難民施設などの攻撃でガザでは1万4800人以上が殺害され、犠牲者の4割以上が子どもとなっています。ガザ地区における人道状況の改善と恒久的な停戦を求める大田区の声明を出すべきです。



物価高騰から区民の暮らしを守る

大田区の産業と子育て支援のためには、以前行ったものづくり経営・革新支援事業の再開など、他区が

実施する多子世帯子育て支援事業などを行うべきです。また、物価高騰やコロナ禍で疲弊している区内事業者への支援の強化が必要で、融資の借り換え支援や利子補給、かつて行った債務保証、信用保証料の補填などあらゆる有効な手立てをとるべきです。

今年もあと1ヶ月で年越しです。職を失った方や、事業を廃業した方などが、年を越せるように、年末年始の閉庁時に臨時窓口の開設と周知を行い、社会福祉協議会と連携して年末年始にも食糧支援などを行うべきです。

安心して暮らし、子育てしやすくするための新年度予算

新年度予算

国や都による給食費無償化が早期に実現することを求めつつ、それまでは区として給食費無償化を継続すること、また、公会計に移行し、その際には各学校における献立作成、食材購入

に支障なきようにすべき。関東大震災から100年、住宅用火災警報器の寿命の目安が10年ですので、交換時期に来ており、火災から命と生業を守り、町を守るためにも、火災警報器の交換への助成をすべきです。

京急を区民が安心して利用できる交通政策



ホームドアが既に整備された京急川崎駅

9月から10月にかけて大森町駅、梅屋敷駅、六郷土手駅で人身事故が発生しており、2023年度中の梅屋敷駅、2024年度中の六郷土手駅へのホームドア設置を前倒しして、さらに雑色駅や大森町駅、大森海岸駅について具体的な設置計画の日程を明らかにさせること、ホームドアが設置されるまでの間、利用客の安全確保を強化することを京急に大田区から求めることを要望しました。

補正予算(第4次)主な内容

- ①住民税非課税世帯等 1世帯70000円の支援給付金
- ②障害者・介護事業・保育園等の福祉事業者へ物価高騰対策支援金
- ③運送事業者支援事業

*予算組み替え提案

かつて大田区で行っていた、製造業支援の「ものづくり経営革新緊急助成事業」の再開を提案。1事業者あたり50万円等・200事業者を対象に支援する内容。

補正予算(第4次)は党区議団は賛成し、全体でも賛成多数で成立。組み替え動議は党区議団以外の反対で否決。

党区議団が新年度予算要望書を区長に提出

予算要望書を区長に提出

日本共産党大田区議団は11月28日、鈴木あきまさ大田区長に対し、2024年度予算編成に関する要望書を提出しました。

党区議団は夏から区内の各団体との懇談会を行い、また、区民から寄せられた声を集約し、予算要望項目は477項目、重点項目50、新規項目30の予算要望書を作成しました。

全文は党区議団ホームページに掲載しています。



私立保育園の委託費問題、大事なバスなどの公共交通を守るために

第4回定例区議会

一般質問 清水菊美

私立保育園の委託費弾力運用について

区内私立認可保育園の委託費のうち、事業者が保育園の事業に関わる費用以外に本部への上納金等に使っていることが大きな社会問

題になっています。公金である委託費が事業者の利益となり、保育士等が低賃金とならないようにすべき。人件費が支出の50%以下とならないよう指導し、国の基準である70〜80%となるよう求めました。

バスなどの公共交通を守り拡充し、交通政策を見直すことについて
区内のバス路線の減便で不便となっている地域が多くなっています。乗務員不足の対策が必要であり、区

新年度予算案の発表を受けた

区政懇談会

日時 2月16日(金)
午後2時から

場所 区役所11階
第3・4委員会室

と事業者が連携することを求めました。交通政策の見直しは、ライドシェア(いわゆる白タク)等ではなく、コミュニティバスやデマンド交通の拡充を提案しました。